

3 スポーツ・文化芸術による平和の体現

25 被爆地広島での「エスキーツennis全国大会」の開催	
目的	<p>広島が発祥の地であるエスキーツennisの全国大会を広島で開催し、全国から集う選手・役員に、核兵器廃絶と世界恒久平和を願う「ヒロシマの心」に触れる機会を提供する。</p> <p>また、広島が発祥の地であることを後世に伝えるためのメモリアルプレートを設置し、世界平和を希求するスポーツ「エスキーツennis」を被爆地から発信する。</p>
内容	<p>1 大会概要</p> <p>主催 日本エスキーツennis連盟</p> <p>主管 広島県エスキーツennis連盟</p> <p>内容 一般の部：男女各18チームによる団体戦（予選リーグ、決勝トーナメント）</p> <p>シニアの部：男女各15ペアによるダブルス戦（予選リーグ、決勝トーナメント）</p> <p>2 平和の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 選手・役員による平和記念資料館見学・平和記念公園訪問 前夜祭における被爆体験朗読劇「『平和への祈り』～スポーツを通して平和を～（仮題）」の上映 「被爆70周年記念」メモリアルプレートの設置（新牛田公園を予定）
備考	<p>開催時期 平成27年10月4日（日）</p> <p>会場 東区スポーツセンター</p>
担当局・課	市民局文化スポーツ部スポーツ振興課

26 ひろしま国際平和マラソンの開催	
目的	<p>毎年、開催している「ひろしま国際平和マラソン」において、参加者が平和のメッセージを記載したワッペンをユニホームに貼り付けて走るなど、核兵器廃絶と世界恒久平和を願う「ヒロシマの心」を発信する。</p>
内容	<p>1 大会概要</p> <p>主催 ひろしま国際平和マラソン実行委員会</p> <p>コース 広島市西区観音新町の広島ダイヤモンドホテル前をスタート 商工センターで折り返し、コカ・コーラウエスト広島スタジアムでゴール</p> <p>参加範囲 小学生以上</p> <ul style="list-style-type: none"> チャレンジコース（約10km） 高校生以上 ビギナーコース（約5km） 小学生以上 車いす（約5km） 中学生以上 キッズコース（約1km） 小学生を含むグループ <p>参加定員 12,000人</p> <p>2 平和の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者の「平和へのメッセージ」をワッペンに書き込み、当日、着衣に貼り付けて走る。 参加者等がサブイベント会場に設置するボードに「平和へのメッセージ」を書き込み、大会終了後、市役所本庁舎等で展示する。
備考	開催時期 平成27年11月3日（火・祝）
担当局・課	市民局文化スポーツ部スポーツ振興課

27 広島交響楽団特別事業「摂氏 4000 度からの未来」プロジェクトの実施	
目的	広島交響楽団の創立 50 周年を契機に、同楽団が企画している特別事業を共同で実施し、「核兵器廃絶と世界恒久平和の実現」を願うヒロシマの心を広く国内外に発信する。
内容	<p>1 作曲の委嘱 「広島レクイエム」などの作曲で知られる広島市出身の著名な作曲家の糀場富美子氏に、原爆投下時に摂氏 4000 度にも達した広島の子供の現在と未来に向けてエールを送る新作「摂氏 4000 度からの未来」の作曲を委嘱する。</p> <p>2 市民への公開 広島交響楽団による演奏会で広く市民に公開する。</p> <p>3 CD 化による各国為政者等への配布 広島交響楽団演奏会において、この新作の世界初演と、同日に演奏を予定しているベートーベン交響曲第 5 番「運命」をあわせてライブ録音して CD 化し、各国為政者や平和首長会議出席者等に贈呈する。</p>
備考	<p>平成 26 年度 作曲の委嘱 演奏会での公開及びライブ録音 (平成 27 年 3 月 27 日 (金) 会場：アステールプラザ大ホール)</p> <p>平成 27 年度 CD 制作、各国為政者等への贈呈 演奏会での公開 (平成 28 年 2 月 19 日 (金) 会場：広島文化学園 HBG ホール)</p>
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課

28 広島の底力！被爆 70 周年復興大写真展の開催	
目的	被爆当時を知らない世代や外国人に、被爆の実相と復興に立ち上がった先人の不屈の精神を伝え、今なお紛争に苦しんでいる人々を勇気づけるとともに、「平和への思い」の継承と共有化を図る。
内容	<p>1 主催 広島写真美術協会※、広島市</p> <p>※ 広島で活躍しているプロの写真家、グラフィックデザイナー等で構成された団体。被爆により焦土と化した広島が復興していく過程を撮り続けた写真家・明田弘司氏が名誉会長を務める。</p> <p>2 内容 写真家・明田弘司氏の写真を中心に、広島の子供の被爆直後から復興、発展の歴史を収めた写真展</p>
備考	<p>開催時期 平成 27 年 4 月 27 日 (月) ～ 5 月 6 日 (水)</p> <p>会場 旧日本銀行広島支店</p>
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課

29 国連創立 70 周年記念未来につなぐヒロシマ平和コンサートの開催	
目的	日本の伝統音楽を通じて、国連加盟国の要人等に我が国の文化に対する理解を深めてもらうとともに、日常の暮らしの中にある「平和の尊さ」を見つめなおす契機とする。また、広島の子どもに参加してもらうことで、子どもに被爆都市ヒロシマの役割を認識してもらい、平和発信活動の継承を図る。
内容	1 主催 広島邦楽連盟、国連日本政府代表部（予定）、広島市 2 内容 平成 27 年 4 月から 5 月にかけて開催される NPT 再検討会議に合わせ、ニューヨーク国連代表部等で開催する邦楽コンサート
備考	開催時期 平成 27 年 4 月 27 日（月）～5 月 3 日（日） 会場 ニューヨーク国連代表部ほか
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課

30 日米の懸け橋～Umi Garret～平和の継承コンサートの開催	
目的	米国在住の 14 歳の天才ピアニスト・宇見ギャレットさんと広島の中・高生による意見交換会やコンサートを通じて、被爆の実相や平和への思いの共有を図り、宇見さんの帰国後は、宇見さんを通じて、多くのアメリカ人と平和への思いを共有する契機とする。
内容	1 主催 Music Party 実行委員会、広島市 2 内容 ・ 宇見ギャレットさんと、同世代の広島の中・高生による「広島の復興の歩みと平和への取組」に係る意見交換会 ・ 宇見ギャレットさんと広島の中・高生、広島交響楽団とのコンサート
備考	開催時期 平成 27 年 7 月 15 日（水） 会場 国際会議場フェニックスホール
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課

31 現代美術館特別展の開催	
目的	現代美術館設置の基本理念である「現代をみつめ、未来への展望をきりひらく」、「国際的視野をもった」美術館として、また、第二次世界大戦後の美術を主要な対象とし、「ヒロシマ」をテーマとした作品の収集や制作委託を行う美術館として、現代美術を通じて「平和」、「ヒロシマ」を広くアピールするとともに、平和の希求には、美術を含む文化の充実と豊かさが重要であることを伝える。
内容	『被爆 70 周年 ヒロシマを見つめる三部作』 「被爆 70 周年 ヒロシマを見つめる」を共通テーマに掲げ、ヒロシマを考える節目の年に、現代の美術表現を通じて様々な視点からヒロシマを見つめ直す特別展（グループ展）を 3 回連続で開催する。平成 27 年内に開幕する三つの展覧会に共通テーマを設けることで、広島内外への発信力を高め、テーマの探求をより深化させる。 ・特別展 1 「ライフ=ワーク」 ・特別展 2 「俯瞰の世界図（仮）」 ・特別展 3 「ふぞろいのハーモニー（仮）」
備考	開催時期 特別展 1 平成 27 年 7 月 18 日（土）～9 月 27 日（日） 特別展 2 平成 27 年 10 月～12 月 特別展 3 平成 27 年 12 月～平成 28 年 3 月 会場 現代美術館
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課（現代美術館）

32 博物館資料を活用した企画展示の開催	
目的	70 年という歳月は、3 世代にわたる時の重みがあり、市民の生活スタイルはもちろん個人々の地域社会との関わりも大きく変化している。今回この移り変わりにスポットをあて、収集した博物館資料を活用した展示会を開催し、郷土の歴史に触れる機会を提供することで、市民の郷土への愛着を高め、地域の活性化に貢献する。
内容	第二次世界大戦を挟んで一変した広島市のまちの様子、市民生活の変化を中心テーマに展示会を開催する。
備考	平成 26 年度 展示シナリオ作成、文献等調査、展示資料選定等 平成 27 年度 展示レイアウト作成、写真・説明等展示パネル制作等 展示会開催 開催時期 平成 27 年 7 月 18 日（土）～8 月 16 日（日） 会場 旧日本銀行広島支店
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課

33 バレエコンサート&眠れる森の美女全幕の開催	
目的	被爆の惨禍を乗り越え再興した広島軌跡と平和の尊さを伝えるバレエを創作し、次世代を担う若者を中心としたバレリーナが演じるにより、「平和への思い」の継承と共有化を図る。
内容	<p>1 主催 (公社) 日本バレエ協会中国支部、広島市</p> <p>2 内容 海外の著名な演出家や国内外で活躍している本市出身のプロのバレリーナ等をゲストに迎えた、小学生から成人までのアマチュアの出演者によるバレエ公演</p> <p>ゲスト出演者等は、事前に、慰霊碑参拝や平和記念資料館の見学を行う。</p>
備考	<p>開催時期 平成 27 年 7 月 25 日 (土)</p> <p>会場 広島文化学園 HBG ホール</p>
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課

34 人の心に平和のとりでを築くコンサートの開催	
目的	<p>世界恒久平和の実現のためには、ユネスコ*憲章前文の「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」との1文が表すように、一人一人の心の中に「平和のとりで」を築く必要があるということをテーマにコンサートを開催することにより、「平和への思い」の継承と共有化を図る。</p> <p>※ 国際連合教育科学文化機関 (United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization U.N.E.S.C.O.)。諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉の促進を目的とした国際連合の専門機関。</p>
内容	<p>1 主催 人の心に平和のとりでを築くコンサート実行委員会、広島市</p> <p>2 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指揮 佐藤 眞 ・ 曲 名 「レクイエム」 (フォーレ作曲) 「土の歌」 (佐藤 眞作曲、大木惇夫作詞) ・ 演奏形態 合唱団及びオーケストラ (公募)
備考	<p>開催時期 平成 27 年 7 月 26 日 (日)</p> <p>会場 広島文化学園 HBG ホール</p>
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課

35 2015 どもコーラスフェスティバル in ひろしまの開催	
目的	国内外の児童合唱団が参加する合唱大会を開催することにより、次世代を担う子どもたちに「平和への思い」を継承し共有化を図る。
内容	<p>1 主催 (一社) 全日本合唱連盟、朝日新聞社、広島市</p> <p>2 内容 国内外の児童合唱団が広島に集い、合唱を通じて平和の尊さを学び、国際理解と交流を深める。</p> <p>(1) 1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開会式 ・ こどものためのアトリエ (参加団体で結成する合同合唱団による練習) <p>(2) 2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平和記念資料館視察及び平和学習 (被爆体験証言の聴講) ・ 平和のセレモニー (原爆の子の像に千羽鶴を捧げ、「広島平和の歌」を献歌) ・ 各団体演奏、アトリエ演奏 (合同合唱団による演奏) ・ 閉会式、全体合唱
備考	<p>開催時期 平成 27 年 8 月 1 日 (土)、2 日 (日)</p> <p>会場 広島文化学園 HBG ホール アステールプラザ多目的スタジオ・オーケストラ等練習場</p>
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課

36 I PRAY 2015 の開催	
目的	原爆投下による広島悲劇と、復興に向けて立ち上がった人々の平和を願う姿を題材にした創作劇を、広島青少年が演じることにより、「平和への思い」の継承と共有化を図る。
内容	<p>1 主催 NPO 法人 I PRAY*、広島市</p> <p>※ 未来を担う子ども達が、被爆体験を継承し、自ら学び、演じ、平和と命の大切さを伝え、世界平和に寄与することを目的に活動している広島 NPO 法人。</p> <p>2 内容 原爆投下による広島悲劇と、復興に向けて立ち上がった人々の平和を願う姿を題材にした創作劇を中心とした公演</p>
備考	<p>開催時期 平成 27 年 8 月 3 日 (月)</p> <p>会場 アステールプラザ大ホール</p>
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課

37 平和のタベコンサートの開催	
目 的	<p>昭和 61 年から毎年開催している平和のタベコンサートの開催により、原爆犠牲者の慰霊及び核兵器廃絶と世界恒久平和の実現という「平和への思い」の共有を促進するとともに、これまで広島市が取り組んできた音楽事業で芽生えた平和文化の継承と普及を促進する。</p> <p>第 30 回の節目を迎える被爆 70 周年には、例年のコンサートに加え、著名な指揮者を迎えて二部構成で開催することにより、音楽を通じてヒロシマの心を世界に発信する。</p>
内 容	<p>第 1 部 主催 (公社) 広島交響楽協会、中国新聞社、広島市、(公財) 広島市文化財団 内容 広島交響楽団が同楽団の音楽監督秋山和義氏の指揮で「Music for Peace 世界に平和を！」と題して、生誕 120 周年を迎えるヒンデミット作曲の交響曲「世界の調和」を演奏するコンサート</p> <p>第 2 部 主催 人の心に平和のとりでを築くコンサート実行委員会、広島市 内容 国内外で活躍している指揮者(大野和士氏)やソリストを招き、本市の復興の原動力になったと言われる「ベートーベン交響曲第 9 番合唱つき」を演奏するコンサート</p>
備 考	<p>第 1 部 平成 27 年 8 月 5 日 (水) (会場：広島文化学園 HBG ホール)</p> <p>第 2 部 平成 27 年 8 月 9 日 (日) (会場：上野学園ホール)</p>
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課

38 国連合唱団コンサートの開催	
目 的	<p>国連事務局職員で構成する合唱団を招致し、コンサートを開催することにより、「平和への思い」の継承と共有化を図る。</p>
内 容	<p>1 主催 日米文化交流プロジェクト in 広島実行委員会、広島市</p> <p>2 内容 ニューヨークの国連事務局職員で構成する合唱団による平和と慰霊のコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国連合唱団演奏 ・ 市民合唱団演奏 ・ ゲスト(声楽家等)演奏 ・ 国連合唱団と市内の合唱団による合同演奏
備 考	<p>開催時期 平成 27 年 8 月 6 日 (木)</p> <p>会 場 アステールプラザ大ホール</p>
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課

39 平和のタンゴの開催	
目 的	平和首長会議加盟都市のブエノスアイレス市からアルゼンチンタンゴダンサーを迎え、被爆者の追悼と平和への祈りを目的とした「平和のタンゴ」の公演を行うことにより、「平和への思い」の継承と共有化を図る。
内 容	<p>1 主催 平和のタンゴ公演開催実行委員会、ブエノスアイレス市、広島市</p> <p>2 内容 ブエノスアイレス市を代表する世界トップダンサー男女ペア1組と、本市のアルゼンチンタンゴダンサー男女ペア1組による公演ほか</p>
備 考	<p>開催時期 平成27年8月上旬（予定）</p> <p>会 場 東区民文化センターホール</p>
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課

40 平和記念公園 上田宗箇流茶会の開催	
目 的	原爆でも破壊することができなかった「文化」の力強さや市民の情熱を、国内外に発信し、多くの人々に希望を与える。また、広島独自の「おもてなしの心」を広くアピールするとともに、広島若き世代とともに事業を実施することにより、「平和への思い」の継承と共有化を図る。
内 容	<p>1 主催 平和記念公園上田宗箇流茶会実行委員会、広島市</p> <p>2 協力 上田宗箇流、市内各大学の茶道部</p> <p>3 内容 平和記念公園を茶庭に見立て、命の源である「水」をテーマにした上田宗箇流の茶会</p>
備 考	<p>開催時期 平成27年8月15日（土）</p> <p>会 場 平和記念公園</p>
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課

41 ヒロシマ・アート・ドキュメント 2015 の開催	
目 的	ヒロシマの持つ悲惨な記憶を新たな創造のエネルギーに変換していくことをテーマにした現代美術の展覧会を開催し、広島での再生や平和の尊さを再認識する契機とする。
内 容	<p>1 主催 CREATIVE UNION HIROSHIMA※、広島市</p> <p>※ 国内外の若手作家を中心に、広島から世界へ芸術を発信することを目的とした団体。</p> <p>2 後援 フランス大使館</p> <p>3 内容 世界的に著名な作家が、感じ取ったヒロシマを表して制作した現代美術作品の展覧会（広島での開催後、長崎でも開催）</p>
備 考	<p>開催時期 平成 27 年 9 月 19 日（土）～10 月 3 日（土）</p> <p>会 場 旧日本銀行広島支店</p>
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課

42 障害者と広島交響楽団とのジョイントコンサート（マーガレットコンサート）の開催	
目 的	障害者の社会参加促進を目的に毎年開催している「マーガレットコンサート」について、平和との関連性を持たせることにより、障害者をはじめ全ての人にやさしい平和都市としての求心力の向上を図る。
内 容	<p>障害者と広島交響楽団のジョイントによる楽曲演奏に加え、平和に関連した取組として、以下の取組を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平和に関連する楽曲の演奏や合唱 ・ 障害者による平和メッセージの発信 ・ 長崎市在住の障害者や特別ゲストの招待
備 考	<p>開催時期 平成 27 年 7 月 12 日（日）</p> <p>会 場 国際会議場フェニックスホール</p>
担当局・課	健康福祉局障害福祉部障害福祉課

43 障害者ピースアート事業の実施	
目的	平和をテーマに据え、障害者の芸術活動を支援する事業をモデル的に実施し、障害者の新たな生きがいづくりや、芸術活動を通じた経済的自立に向けた可能性の拡大につなげるとともに、障害者をはじめ全ての人にやさしい平和都市としての求心力の向上を図る。
内容	<p>1 障害者ピースアートコンテストの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者を対象とした芸術教室を開催する。 ・ 平和をモチーフに障害者が制作したアートやデザインを募集し、応募作品の中から優秀作品を選び、表彰する。 ・ 応募作品を集めて「障害者によるピースアート展」を開催するとともに、その一部についてデザインを生かし、商品化を目指す。 <p>2 ヒロシマにさわろう ～手でさわる平和記念公園の制作～ 視覚障害者が、平和記念公園内の建造物などを理解しやすいよう、一部を手で触ることができる大きさに再現し、展示する。</p>
備考	平成 27 年 12 月（予定） 障害者ピースアートコンテストの開催 平成 27 年度中 「手でさわる平和記念公園」の制作・展示
担当局・課	健康福祉局障害福祉部障害福祉課

4 復興したまちの魅力の再発見と更なる発展

44 「広島 ^{とお} 通り御祭礼 ^{ごさいれいみこし} 神輿行事」の復活・継承	
目的	<p>「通り御祭礼」は、広島東照宮の祭礼における神輿行列として、徳川家康の50年忌にあたる寛文6年（1666年）に始まり、以来50年ごとに行われていたもので、当初、広島藩側で行う官祭としての性格が色濃かったが、次第に町民が行列に参加するようになりイベント化が進むなど、広島城下における都市祭礼としての性格を備えるようになった。</p> <p>しかしながら、文化12年（1815年）以降、慶応元年（1865年）は長州戦争、大正4年（1915年）は第一次世界大戦、昭和40年（1965年）は原爆被害の復興途上のため、神輿行列は行われていない。</p> <p>戦争や原爆被害のために200年途絶えた神輿行列を、しきたりに従って昭和40年（1965年）の50年後にあたる平成27年（2015年）に復元・復活させることにより、広島固有の伝統文化の継承を図る。</p>
内容	<p>神輿行列の復元・復活に際し、実施母体となる経済人、学識経験者及び地域住民等が参画する「通り御祭礼実行委員会」に対し、広島固有の伝統文化の継承を図る観点から指導・助言を行う。</p>
備考	<p>実施時期 平成27年10月10日（土） 場 所 広島東照宮～饒津神社</p>
担当局・課	市民局文化スポーツ部文化振興課文化財担当

45 70年目の広島の旅の実施	
目的	<p>原爆の惨禍を経験してそれを乗り越えた平和都市「広島」でしか体感できない観光メニューを開発するとともに、「70年目の広島の旅」として取りまとめてプロモーション活動を行うことにより、平和都市としての求心力の向上を図り、広島魅力を発信する。</p>
内容	<p>1 「70年目の広島の旅」のプロモーション、広島巡りの旅の実施 観光客に訴求効果のある被爆70周年記念事業を「70年目の広島の旅」として取りまとめ、旅行会社等へのプロモーション活動を行う。また、被爆前と現在の市街地を比較しながら街歩きをするコースや、被爆電車で被爆建物等を巡り、併せて上田宗箇流の茶道を体感できるコースを設定し、広島巡りの旅を実施する。</p> <p>2 折り鶴とうろう流しの実施 8月6日に行われる「ピースメッセージとうろう流し」において、折り鶴とうろうを川面に浮かべる。</p> <p>3 ひろしまドリミネーション・被爆70周年区画の展開 NHK広島放送局南側緑地などにおいて、平和をイメージしたライトアップを展開する。</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島巡りの旅の実施 実施時期 平成27年7月～9月（予定） ・ 折り鶴とうろう流しの実施 実施時期 平成27年8月6日（木）、場所 元安川親水護岸ほか ・ ひろしまドリミネーション・被爆70周年区画の展開 実施時期 平成27年11月中旬～平成28年1月初旬 場 所 平和大通り
担当局・課	経済観光局観光政策部

46 復興の都市計画についての企画展の開催	
目的	<p>被爆から70年が経過し、市民の間で復興の記憶が薄れつつある一方で、東日本大震災を契機として、都市の復興が注目を集めており、広島復興の過程を次世代に劣化させることなく継承していくことの必要性が、以前にも増して高まっている。</p> <p>このため、復興の都市計画について市民目線で紹介する企画展の開催等により、広島市を平和記念都市として建設する理念及び意義についての市民の理解の促進と、復興の歴史の継承を図る。</p>
内容	<p>広島復興において広島平和記念都市建設法と都市計画が果たした役割を紹介する企画展（パネル展示等）を開催する。</p> <p>企画展の展示内容については、復興の過程における市民の関わりや、平和記念都市として復興する過程で整備された都市基盤が今日の市民生活の基礎となっていることなどにも触れ、市民の理解がより深まるようなものとする。</p>
備考	<p>開催時期 平成27年8月上旬</p> <p>会場 まちづくり市民交流プラザ（予定）</p>
担当局・課	都市整備局都市計画課

47 広島の誇りある景観まちづくりプロジェクトの実施	
目的	<p>被爆による廃墟からの復興の過程で整備された平和記念公園や平和大通り、河岸緑地などは、広島固有の景観を形成するものとして、大きな役割を果たしている。また、原爆ドーム、原爆死没者慰霊碑、平和記念資料館は平和記念公園の設計理念の柱として、南北一直線上に配置されており、この軸線を見通す景観は、本市の都市づくりの基軸の一つとして特に重要である。こうした都市資源を再認識し、後世に確実に継承していくとともに、将来に向けた「広島らしさ」を感じるまちづくりにつなげる。</p>
内容	<p>1 都市軸の銘板等設置 平和記念資料館の再整備に合わせて、南北軸を見通す景観の主要な視点場である資料館本館下床面に、南北軸の存在を広く周知するための表示を行うとともに、その付近に説明板を設置する。中工場についても、同様の趣旨で説明板を設置する。</p> <p>2 広島の景観をとらえた写真集の作成等 平和、歴史・文化、水と緑、にぎわい・おもてなしの観点から広島の景観をとらえた写真を市民から募集し、被爆70周年の広島の景観にふさわしい写真を選考した上で、写真集を作成する。写真はデジタル化し、情報発信する。また、広島らしい眺望景観を選び、そこを望む眺望点からの定点写真の撮影を行い、パンフレットを作成する。 写真の選考等は、写真審査委員会を設置して行う。</p>
備考	<p>1 都市軸の銘板等設置 平成29年度 銘板・説明板の設置</p> <p>2 広島の景観をとらえた写真集の作成等 平成27年度 審査委員会の設置・開催、写真の募集等 平成28年度 審査委員会の開催、定点写真の撮影、写真集・パンフレットの作成等</p>
担当局・課	都市整備局都市計画課都市デザイン担当

48 全国花のまちづくり広島大会の開催	
目的	<p>花と緑あふれる美しいまちの実現は、地域に誇りと愛着を持つ市民・企業の自主的活動とそれを支える行政の取組が組み合わさって可能となる。</p> <p>市民の花と緑のまちづくりに対する意識醸成を図るとともに、市民・企業等との協働による取組をさらに進める契機とするため、全国花のまちづくり地方大会^{※1}を誘致・開催する。</p> <p>※1 全国的な花のまちづくりの普及を目的として、毎年、春の都市緑化推進運動期間（4月1日～6月30日）中の2日間、開催地の地方公共団体と花のまちづくりコンクール推進協議会（事務局：（公財）日本花の会）との共催で開催されている。</p>
内容	<p>本市が事務局となり、地域団体の代表者等及び（公財）日本花の会からなる実行委員会を組織し、大会の企画、準備、運営に当たる。</p> <p>大会では、花のまちづくりに取り組んでいる地域団体や、全国花のまちづくりコンクール^{※2}の入賞者による事例発表、基調講演、大会参加者による交流会、現地見学会などを実施する。</p> <p>※2 花のまちづくりを国民的な市民運動として普及、定着させるために、全国各地で取り組まれている花や緑による優秀な活動を顕彰し、広く紹介するものとして実施されている。</p>
備考	<p>平成26年度 実行委員会の設立、大会プログラム等の企画、PR活動等</p> <p>平成27年度 大会開催 開催時期 平成27年4月25日（土）、26日（日）</p> <p>会 場 広島国際会議場（主会場）、中央公園等</p>
担当局・課	都市整備局緑化推進部緑政課花と緑の施策担当

49 平和を象徴する緑の保存・継承事業の実施	
目的	<p>先人のたゆまぬ努力と国内外の多くの人たちの協力により原爆の被災から緑豊かな都市へと復興してきた本市の歴史をアピールし、被爆100周年に向けてさらに平和を象徴する緑の保存・継承を進めていくもので、広島の復興した姿と平和への思いを未来に伝える空間づくりに寄与する。</p>
内容	<p>1 友好の木 ーハナミズキ・イニシアチブ</p> <p>大正元年（1912年）に日本から米国に3,000本のサクラが寄贈されてから100周年を迎えたことを記念して、友好の象徴として米国から日本の主要な都市へ3,000本のハナミズキを贈る日米合同のプロジェクトであり、平和大通りで植樹式を行う。</p> <p>2 供木運動等寄付樹木の保存・継承</p> <p>市民や来訪者に「供木運動」などの取組を知ってもらうための説明プレートを、平和記念公園や平和大通りに設置する。また、供木運動や海外からの寄贈により植えられた樹木のうち、衰弱が認められる個体の樹勢回復に向け、樹勢調査を行う。</p>
備考	<p>1 友好の木 ーハナミズキ・イニシアチブ</p> <p>平成27年度 植樹式の開催</p> <p>2 供木運動等寄付樹木の保存・継承</p> <p>平成27年度 供木運動等に関する資料収集・分析、樹勢調査</p> <p>平成28年度 説明プレート設置</p>
担当局・課	都市整備局緑化推進部緑政課花と緑の施策担当

50 猿猴橋復元事業の実施	
目 的	<p>被爆橋の一つである猿猴橋には、大正 15 年に現在のコンクリート橋に架け替えられた際、電飾や鋳物の透かし彫りなど豪華な装飾が施されていたが、昭和 18 年、戦時下の金属資源不足のため発せられた金属類回収令により、これらの装飾品が全て供出された。また、昭和 20 年の原子爆弾投下では、欄干の一部が破損する被害を受けたものの、構造的な被害はわずかにとどまり、被災者の避難や救援活動に使われ、多くの命をつなぐ役割を担った。</p> <p>現在、地元では、広島復興を見届けてきた猿猴橋の一部を、広島市立大学芸術学部の協力を得て復元し、後世に伝えようと募金活動が行われていることから、その取組と連携して、市民と公共の協働によるまちづくりを行うとともに、J R 広島駅周辺において進められている再開発事業や河岸緑地整備などと併せ、来訪者に新たな都市の魅力を発信する。</p>
内 容	<p>猿猴橋の諸元 橋長：62.5m、有効幅員：8.2m、形式：5 径間 RCT 桁・壁式橋脚</p> <p>復元内容 設置：親柱 4 基・照明柱 8 基、取替え：高欄 40 箇所</p>
備 考	<p>平成 26 年度 設計 平成 27 年度 工事</p>
担当局・課	道路交通局道路部道路課